

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2023年7月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2023年6月29日現在)

<7月に追加>

P1 【SaaS系企業】 アドビ(ADBE)

<継続>

P2 【ハイテク主力】 アップル(AAPL)

P3 【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)

P4 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P5 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)

P6 【ハイテク主力】 メタ・プラットフォームズ(META)

P7 【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

P8 【IT大手】 IBM(IBM)

P9 【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)

P10 【半導体】 エヌビディア(NVDA)

P11 【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P12 【半導体】 オン・セミコンダクター(ON)

P13 【半導体】 ASMLホールディングADR(ASML)

P14 【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)

P15 【電気自動車】 テスラ(TSLA)

P16 【民間旅客機】 ボーイング(BA)

P17 【生活必需品】 プロクター&ギャンブル(PG)

P18 【飲料】 コカ・コーラ(KO)

P19 【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)

P20 【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)

<追加>

クリエイター向けソフトウェア企業

<継続>

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

ソフトウェア世界最大手

米SNS運営世界最大手

動画配信世界最大手

IT業界の老舗企業

企業向けIT管理ソフトウェア企業

画像処理半導体(GPU)開発企業

米ロジック半導体大手

車載向け半導体大手

オランダの半導体製造装置大手

次世代ファイアウォール機器専門大手

米電気自動車(EV)大手

世界最大級の民間旅客機製造企業

世界最大の日用品メーカー

グローバル展開の飲料大手

米製薬大手

手術ロボット世界最大手

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業。画像生成AIを強化

会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「PDFファイル」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレータ」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルケを取得。本社はカリフォルニア州サンセ、従業員数は30,078名(23年5月末時点)。

注目ポイント

□ **クラウドビジネス転換の成功企業**: アドビは他社に先駆け2012年に従来のパッケージ販売からサブスクリプション(継続課金)制へ転換を図り現在、関連収入が9割を占め、営業利益率のV字回復も達成し成功した企業として知られる。

□ **画像生成AI「ファイアフライ」**: アドビは3月に簡単な文章をもとに画像などを生成する画像生成AI(人工知能)「ファイアフライ」の試験版を公開した。描きたいものの説明文を打ち込むと数秒で画像が出来上がる仕組み。6月の決算発表では、試験公開以来5億の作品が生み出されたと説明。アドビは今後、生成AI機能をサブスク方式で提供していく方針を示している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	483.77 (06/29)
52週高値(日付)	518.64 (23/06/16)
52週安値(日付)	274.8 (22/09/27)
時価総額	2,205億ドル 31兆9,199億円
株価変化率(%)	43.3 (過去6ヶ月間) 31.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	45.4 (倍)
株価売上高比率	12.1 (倍)
PBR	14.9 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.7 (%)
株式ベータ	1.51 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/11	15,785	23	5,802	37	4,822	-8	10.02	0.00
2022/11	17,606	12	6,098	5	4,756	-1	10.10	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	4,386	—	1,529	—	1,178	—	2.49	0.00
2023/Q2	4,816	10	1,624	6	1,295	10	2.82	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場
ナスダック

セクター
IT機器

デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。

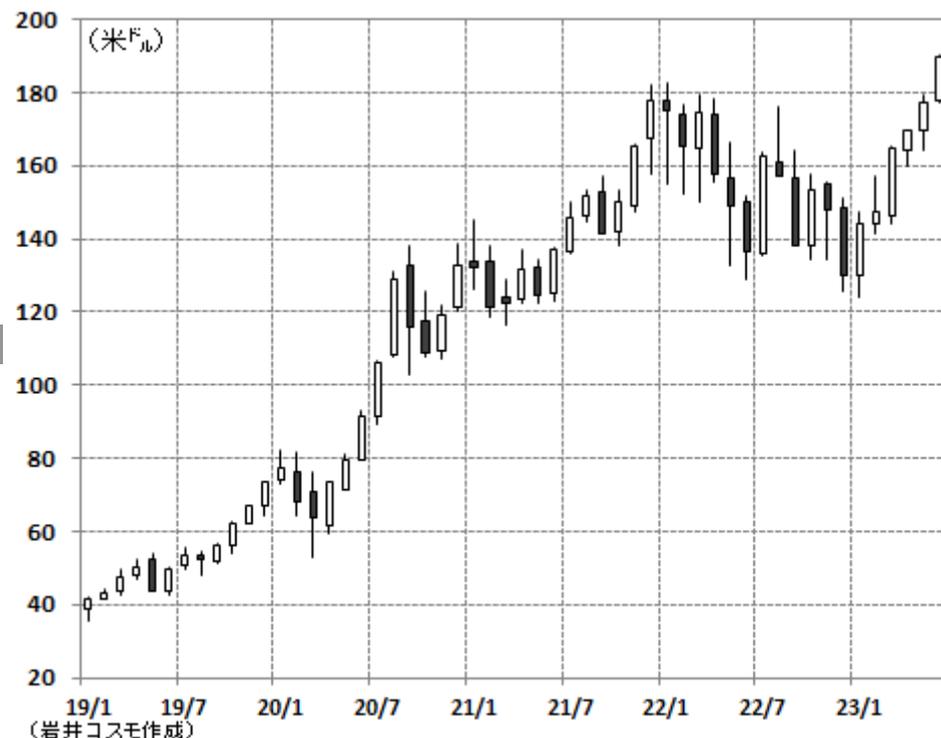
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **新端末「ビジョン・プロ」を発表**:アップルは6月5日、ゴーグル型のヘッド・マウント・ディスプレイ「ビジョン・プロ」を発表した。「ビジョン・プロ」は現実風景にCG(コンピューター・グラフィックス)を重ねる拡張現実(AR)に対応。24年初めにも米国の直営店やオンラインで発売し、価格は3,499ドルからとなる見込み。

□ **「ビジョン・プロ」のコンテンツでディズニーと連携**:新端末「ビジョン・プロ」のコンテンツ面では、米ウォルト・ディズニーとの提携を発表。「ビジョン・プロ」の発売当初からディズニーの動画配信サービス「ディズニー+(プラス)」のコンテンツが視聴可能となる。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	189.59 (06/29)
52週高値(日付)	190.07 (23/06/29)
52週安値(日付)	124.18 (23/01/03)
時価総額	2兆9,820億ドル 431兆6750億円
株価変化率(%)	46.3 (過去6ヶ月間) 36.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.2 (倍)
株価売上高比率	7.9 (倍)
PBR	48.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.51 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	145.6 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/09	365,817	33	108,949	64	94,680	65	5.61	0.865
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900

四半期業績

2022/Q2	97,278	—	29,979	—	25,010	—	1.52	0.220
2023/Q2	94,836	-3	28,318	-6	24,160	-3	1.52	0.230

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

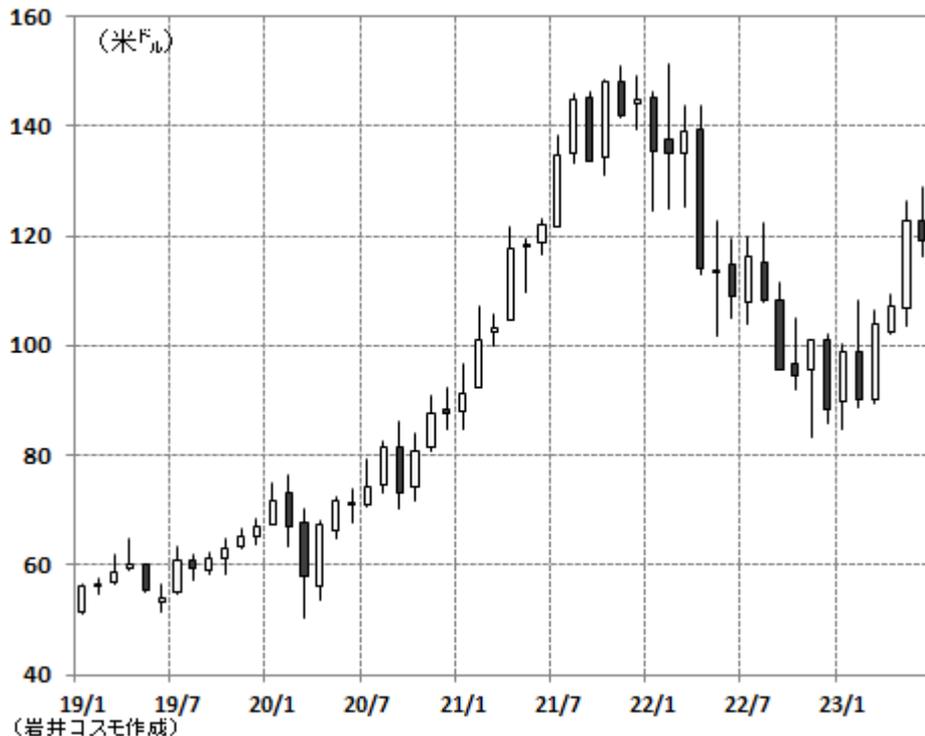
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,771人(23年3月末)。

注目ポイント

□**生成AI技術をアップデート**: グーグルは文章や画像を自動で作成する生成AI(人工知能)を日本語を含む40超の言語で提供すると発表。電子メール「Gメール」との連携も図る。生成AIでは、マイクロソフトと提携するオープンAIの「チャットGPT」が先行しており、グーグルも対抗サービス「バード」を開発したが、真偽などの質を巡って「チャットGPT」に遅れを取っていた。

□**クラウド事業が始めて黒字化**: アルファベットが4月25日に発表した1-3月期決算では、クラウド事業の営業損益が1.91億ドルの黒字と前年同期の7.06億ドルの赤字から黒字転換した。クラウド事業は採用などの負担が重く、営業赤字が継続していたが、四半期ベースとしては初めての黒字となった。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	119.1 (06/29)
52週高値(日付)	129.03 (23/06/07)
52週安値(日付)	83.34 (22/11/03)
時価総額	1兆5,180億ドル 219兆7398億円
株価変化率(%)	34.7 (過去6ヶ月間) 6.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	24.6 (倍)
株価売上高比率	5.4 (倍)
PBR	5.8 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.8 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	257,637	41	78,714	91	76,033	89	5.61	0.00
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00

四半期業績

2022/Q1	68,011	—	20,094	—	16,436	—	1.23	0.00
2023/Q1	69,787	3	17,415	-13	15,051	-8	1.17	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **生成AIに参入**: アマゾンは4月13日、クラウドを通じ、文書などを自動で作成する生成人工知能 (AI) を提供すると発表。クラウド事業のAWSを通じて、自社開発の生成AIや新興企業が開発した技術の基盤を提供する。生成AIを巡っては、マイクロソフトなどの米IT大手が開発を競っており、アマゾンは外部の技術も活用することで差別化を図る。

□ **英当局がAIロボットの買収計画を承認**: アマゾンによるロボット掃除機「ルンバ」のAIロボット買収計画に関して、英国の競争当局が承認を出した。英競争・市場庁 (CMA) は声明で「この買収取引は英国市場における競争上の懸念にはつながらないだろう」と説明した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価 (米ドル)	127.9 (06/29)
52週高値 (日付)	146.57 (22/08/16)
52週安値 (日付)	81.44 (23/01/06)
時価総額	1兆3,123億ドル 189兆9684億円
株価変化率 (%)	51.9 (過去6ヶ月間) 17.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	137.9 (倍)
株価売上高比率	2.5 (倍)
PBR	8.5 (倍)
税配前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	3.0 (%)
株式ベータ	1.33 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	469,822	22	24,879	9	33,364	56	3.24	0.00
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00

四半期業績

2022/Q1	116,444	—	3,669	—	-3,844	—	-0.38	0.00
2023/Q1	127,358	9	4,774	30	3,172	黒転	0.31	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手。生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

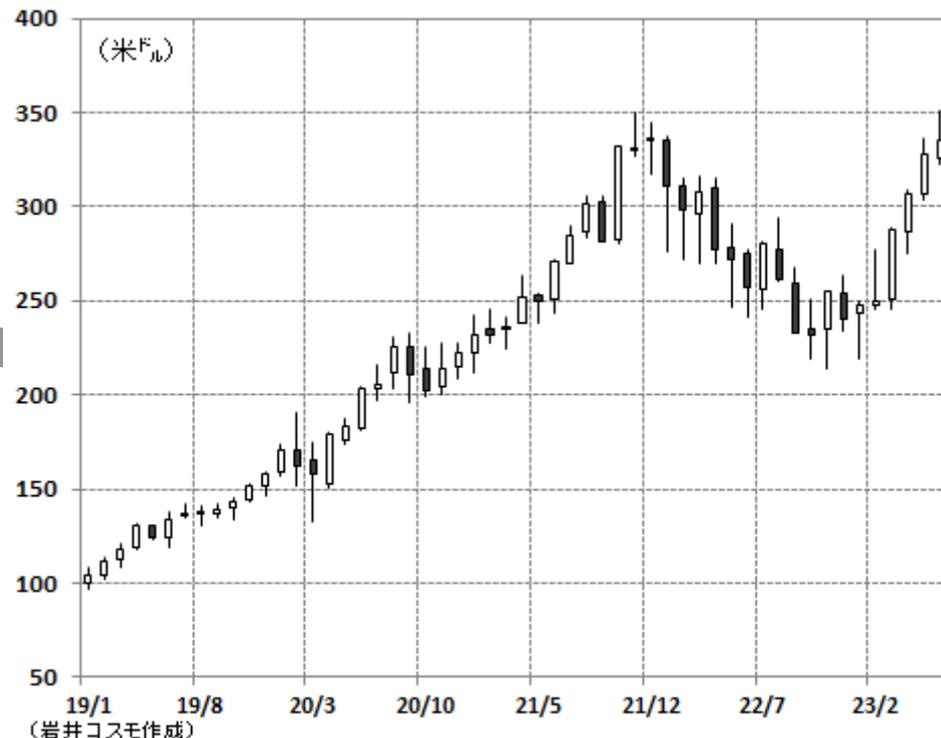
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**:マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長役である。

□**対話型AIと既存サービスの融合を加速**:マイクロソフトは5月23日、パソコン用基本ソフト(OS)の「ウィンドウズ」に対話型AI(人工知能)を組み込むと発表。同社は既に表計算ソフト「エクセル」等に生成AIを組み込むことを発表しており、既存サービスと生成AIの融合を加速させる。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	335.05 (06/29)
52週高値(日付)	351.32 (23/06/16)
52週安値(日付)	213.46 (22/11/04)
時価総額	2兆4,913億ドル 360兆6348億円
株価変化率(%)	39.0 (過去6ヶ月間) 28.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.7 (倍)
株価売上高比率	12.0 (倍)
PBR	12.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.81 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.6 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/06	168,088	18	69,916	32	61,271	38	8.05	2.24
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48

四半期業績

2022/Q3	49,360	—	20,364	—	16,728	—	2.22	0.62
2023/Q3	52,857	7	22,352	10	18,299	9	2.45	0.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

38億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で38.1億人(23年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約77,114人(23年3月末時点)。

注目ポイント

□**新VR端末「クエスト3」を今秋発売**：メタは6月1日、新たな仮想現実(VR)端末「メタ・クエスト3」を今秋に発売すると発表した。VRに加え、コンピュータで生成した映像を現実の景色に融合させる複合現実(MR)に対応する。価格は499ドルからとし、「クエスト2」の当初価格の299ドルからは大幅な値上げとなる。

□**AI向け独自半導体を開発へ**：メタは5月18日、人工知能(AI)向け半導体を独自開発すると明らかにした。自社ソフトに最適な半導体を作り、処理能力の向上や消費電力の低減につなげる。AI半導体の開発は米グーグルなども強化しており、競争が激化している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	281.53 (06/29)
52週高値(日付)	289.79 (23/06/26)
52週安値(日付)	88.1 (22/11/04)
時価総額	7,215億ドル 104兆4423億円
株価変化率(%)	134.1 (過去6ヶ月間) 71.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.5 (倍)
株価売上高比率	6.4 (倍)
PBR	5.8 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.3 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	117,929	37	46,753	43	39,370	35	13.77	0.00
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00

四半期業績

2022/Q1	27,908	—	8,524	—	7,465	—	2.72	0.00
2023/Q1	28,645	3	7,227	-15	5,709	-24	2.20	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手。広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

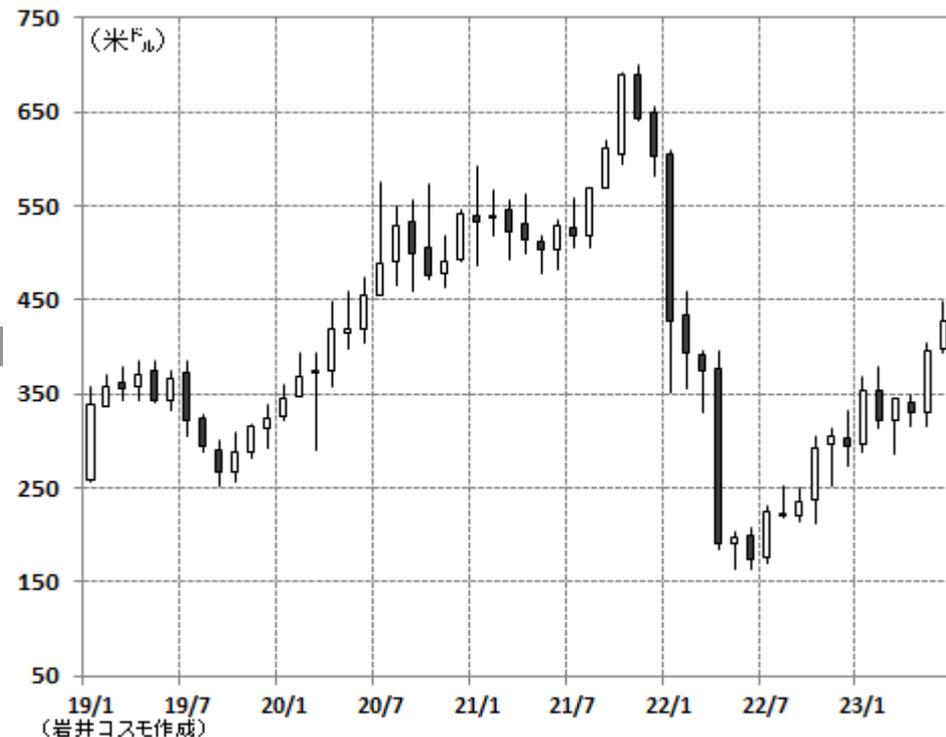
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。21年には韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始した。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処**: ネットflixは他人のアカウントを共有している米国の視聴者に厳しく対応する措置を4-6月期に開始する。同社は1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定。アカウント共有を規制することで、今後の会員数が押し上げられる可能性がある。先行して共有を厳格化したカナダでは、顧客基盤が拡大している。

□ **広告プランが堅調**: ネットflixは5月17日、広告付きの低価格プランの月間アクティブユーザー数が導入後6ヶ月で500万人に達したと、ニューヨークで開催された広告主向けのイベントで発表した。今回の発表で、「広告プランは低調」との懸念を打ち消す内容となった。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	428.24 (06/29)
52週高値(日付)	448.5 (23/06/15)
52週安値(日付)	169.78 (22/07/13)
時価総額	1,904億ドル 27兆5,580億円
株価変化率(%)	47.1 (過去6ヶ月間) 140.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	49.5 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.3 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	29,698	19	6,195	35	5,116	85	11.24	0.00
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00

四半期業績

2022/Q1	7,868	—	1,972	—	1,597	—	3.53	0.00
2023/Q1	8,162	4	1,714	-13	1,305	-18	2.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

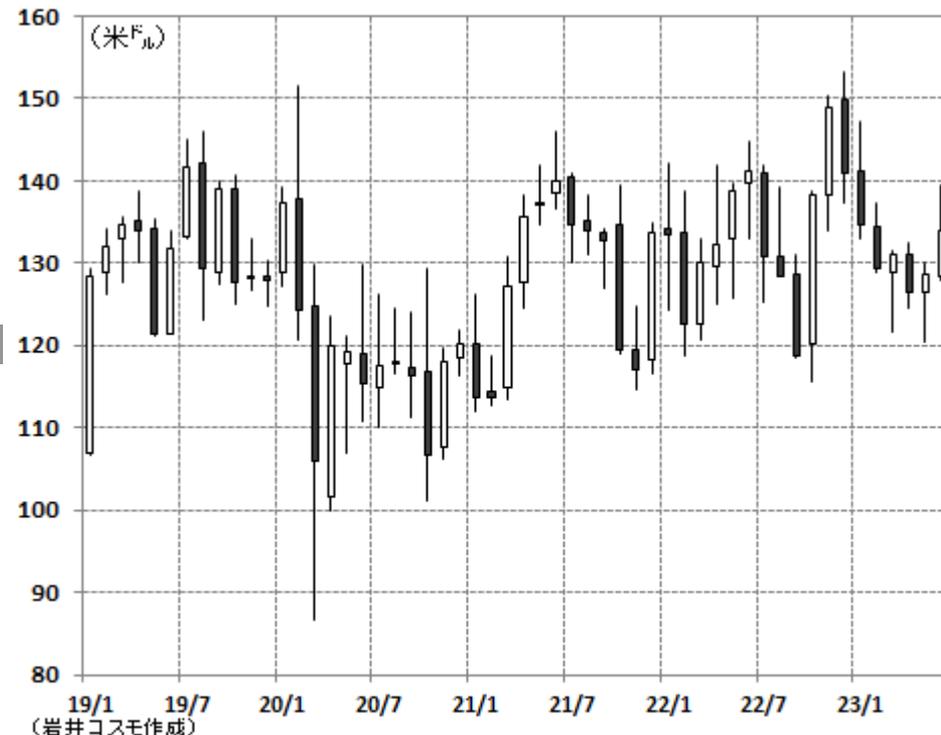
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。

□ **法人向けAI「ワトソンX」を発表**: IBMは5月9日に開催した年次イベントで、法人顧客向けの人工知能(AI)「ワトソンX」を発表した。処理能力の精度やデータ管理能力を高め、企業が安心して使えるように工夫した。オープンAIの「チャットGPT」の登場により企業間で高まっているAI導入ニーズに対応する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	134.06 (06/29)
52週高値(日付)	153.16 (22/12/13)
52週安値(日付)	115.55 (22/10/13)
時価総額	1,217億ドル 17兆6,220億円
株価変化率(%)	-5.0 (過去6ヶ月間) -4.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.5 (倍)
株価売上高比率	2.0 (倍)
PBR	5.6 (倍)
税引前配当利回り(%)	4.95 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.0 (%)
株式ベータ	0.76 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	57,350	—	4,837	—	5,743	—	6.35	6.55
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q1	14,197	—	623	—	733	—	0.81	1.64
2023/Q1	14,252	0	1,058	70	927	26	1.01	1.65

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

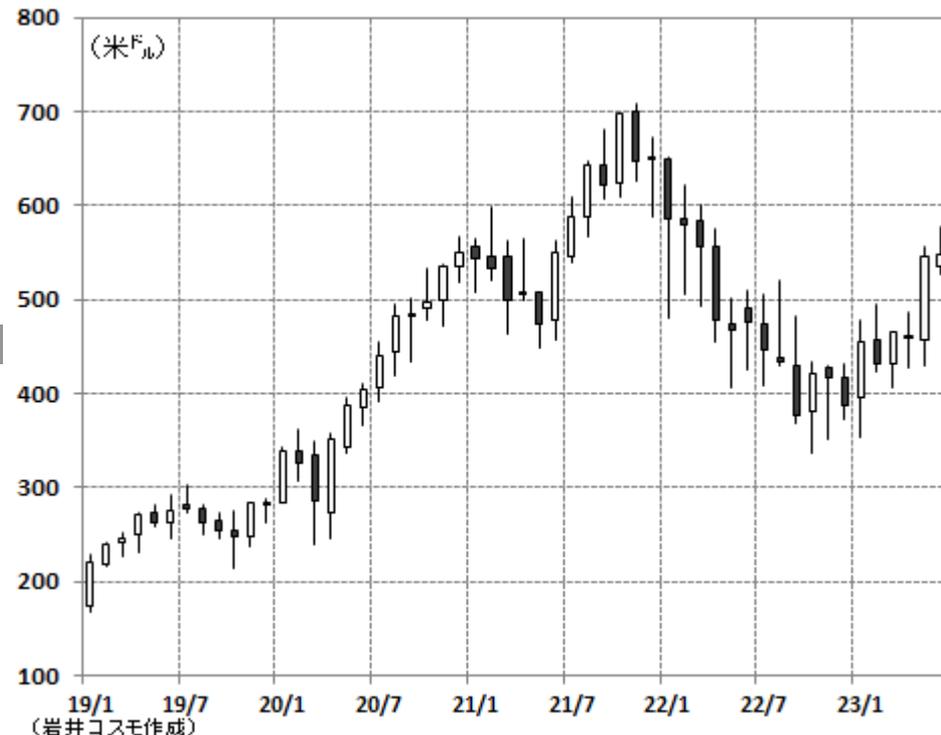
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(22年度)は北米65%、欧州等25%、アジア/太平洋が10%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は21,031名(23年3月末)。19年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	548.08 (06/29)
52週高値(日付)	576.63 (23/06/15)
52週安値(日付)	337.22 (22/10/13)
時価総額	1,117億ドル 16兆1,648億円
株価変化率(%)	40.6 (過去6ヶ月間) 14.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	265.7 (倍)
株価売上高比率	14.6 (倍)
PBR	19.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.3 (%)
株式ベータ	1.50 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,896	30	257	29	230	94	1.13	0.00
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q1	1,722	—	87	—	75	—	0.37	0.00
2023/Q1	2,096	22	144	66	150	100	0.73	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

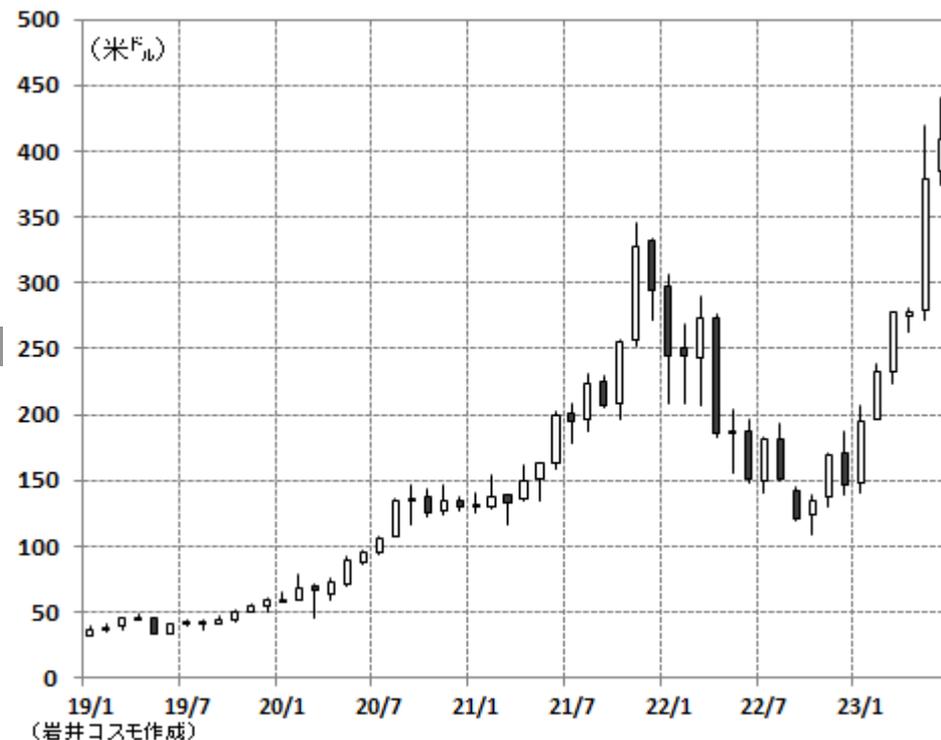
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、ゲーム市場向けが34%、視覚化技術に関するプロ向けが6%、AIを含むデータセンター向けが56%、自動車向けが3%、OEM&IPが2%(23年1月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 5-7月期は強気見通しを提示: エヌビディアが5月24日に発表した23年5-7月期のガイダンスでは、売上高を前年同期比61~67%増の107.8億~112.2億ドルとし、市場予想の71.8億ドルを大幅に上回る見通しを示した。会社側は「生成AI(人工知能)関連が需要を押し上げる」とし、「(AI関連のGPUの)供給を大幅に増やしている」とした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	408.22 (06/29)
52週高値(日付)	439.88 (23/06/20)
52週安値(日付)	108.14 (22/10/13)
時価総額	10,083億ドル 1,45兆9,620億円
株価変化率(%)	179.5 (過去6ヶ月間) 162.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	198.2 (倍)
株価売上高比率	39.1 (倍)
PBR	41.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.04 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.9 (%)
株式ベータ	1.70 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	26,914	61	10,041	122	9,752	125	3.85	0.16
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16
四半期業績								
2023/Q1	8,288	—	1,868	—	1,618	—	0.64	0.04
2024/Q1	7,192	-13	2,140	15	2,043	26	0.82	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

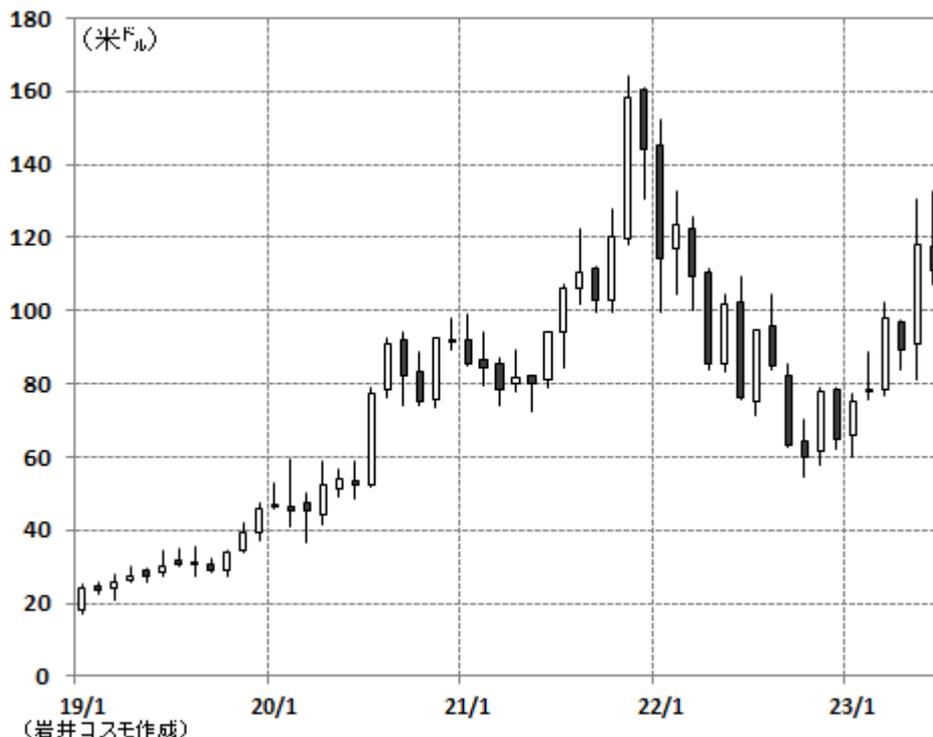
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに大きく劣後も巻き返し目指す**：AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な半導体企業。ただPCやサーバ向けCPUがインテルが圧倒的シェア。GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝している。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、巨人インテルの牙城の切り崩しにかかる。

□ **AI向けの最新半導体を投入**：AMDは6月13日に開催したイベントで、生成AI(人工知能)向けの半導体「MI300X」を23年後半に投入すると発表。AI向け半導体では市場シェアの8割を握るエヌビディアの「1強状態」に対抗する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	111.24 (06/29)
52週高値(日付)	132.8 (23/06/13)
52週安値(日付)	54.58 (22/10/13)
時価総額	1,791億ドル 25兆9,318億円
株価変化率(%)	71.6 (過去6ヶ月間) 42.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	256.0 (倍)
株価売上高比率	7.8 (倍)
PBR	3.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.7 (%)
株式ベータ	1.53 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	16,434	68	3,648	166	3,162	27	2.57	0.00
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00

四半期業績

2022/Q1	5,887	—	951	—	786	—	0.56	0.00
2023/Q1	5,353	-9	-145	赤転	-139	赤転	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

自動車向けに強みを持つ半導体企業、SiCパワー半導体に積極投資

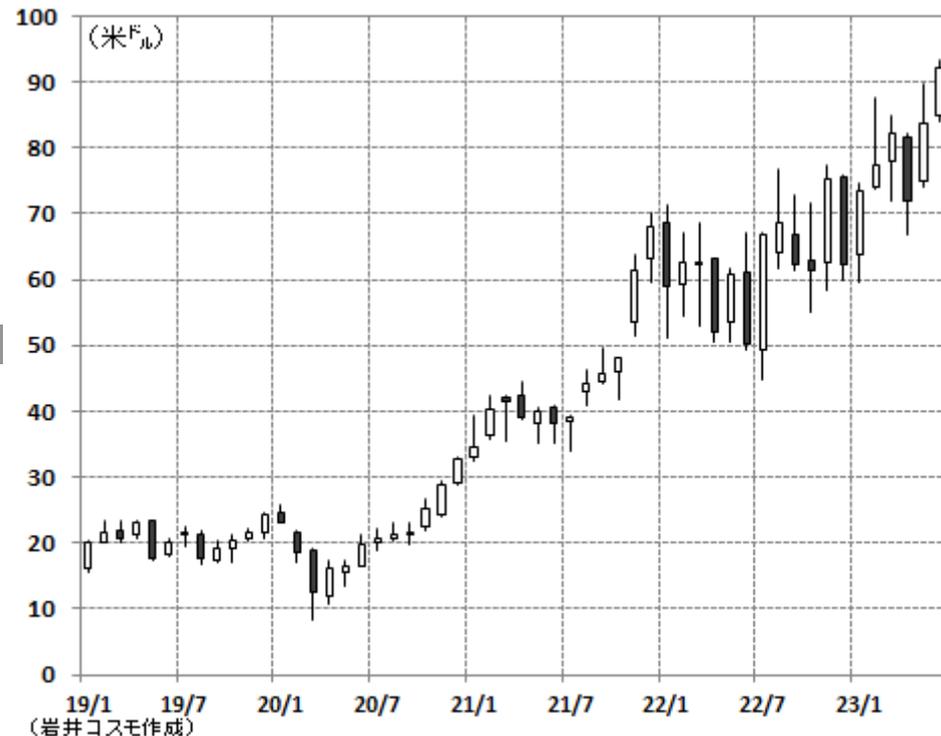
会社概要

1999年に米モトローラ社から分社化し誕生した総合半導体メカ。2000年にナスダック上場、10年に三洋電機の半導体事業を、16年に自動車向けに強いフェアチャイルド社を買収。電源の制御・供給を行うパワー半導体の大手で、売上高全体のおよそ半分を占めるほか、自動車向けのイメージセンサーでも高い市場シェアを持つ。本社はアリゾナ州フェニックス。従業員は約31,000人(22年末)。

注目ポイント

□ **シリコンカーバイド製のパワー半導体**: これまでパワー半導体の部材ではシリコン製が用いられてきたが、より性能が高く、省エネを実現できる炭化ケイ素(シリコンカーバイド)を部材としたSiCパワー半導体に注目が集まっている。オンセミはエルコリCEO就任した2020年頃からSiC事業に注力し、大規模な投資を加速させている。

□ **テスラのSiC削減方針にコメント**: 米テスラは次世代電気自動車(EV)では、省エネ性能は高いが高価となるSiC(シリコンカーバイド)を使用したパワー半導体の利用を75%削減する方針を示した。これに関してオンセミは、「長期契約には何ら変更はない」とし、投資家の懸念を払拭するコメントを発表した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	92.08 (06/29)
52週高値(日付)	93.4 (23/06/13)
52週安値(日付)	44.77 (22/07/05)
時価総額	398億ドル 5兆7,566億円
株価変化率(%)	46.8 (過去6ヶ月間) 80.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	17.6 (倍)
株価売上高比率	4.8 (倍)
PBR	6.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.0 (%)
株式ベータ	1.44 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	6,740	28	1,288	269	1,010	331	2.27	0.000
2022/12	8,326	24	2,360	83	1,902	88	4.25	0.000

四半期業績

2022/Q1	1,945	—	647	—	530	—	1.18	0.000
2023/Q1	1,960	1	565	-13	462	-13	1.03	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

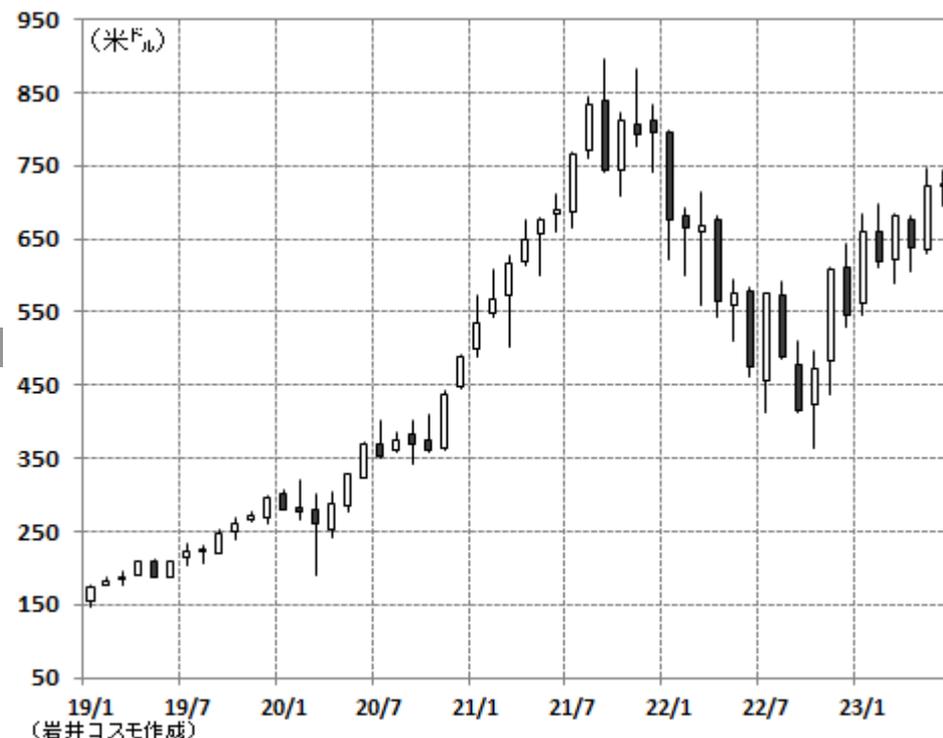
会社概要

オランダの半導体製造装置メカ。半導体製造工程の前工程の装置メカの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホーヘン、従業員数は37,704人(23年4月時点)。

注目ポイント

□ **EUV露光で世界をリード**：世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、22年度は前年比2台減の40台を出荷した。

□ **好調なガイダンスを提示**：4月19日に発表した決算の中で、23年4-6月期のガイダンスを提示。売上高を65億~70億ユーロとし、市場予想の64.2億ユーロを下限でも上回った。会社側は、同社の半導体製造装置の総需要が年内は供給能力を上回り続けると指摘した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	723.35 (06/29)
52週高値(日付)	747.06 (23/05/30)
52週安値(日付)	363.31 (22/10/13)
時価総額	2,916億ドル 42兆2,135億円
株価変化率(%)	31.2 (過去6ヶ月間) 49.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	38.4 (倍)
株価売上高比率	10.8 (倍)
PBR	27.4 (倍)
税前配当利回り(%)	1.03 (直近年率)
配当成長率(%)	1.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	74.0 (%)
株式ベータ	1.60 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2021/12	18,611	—	6,750	—	5,883	—	14.34	3.35
2022/12	21,173	14	6,501	-4	5,624	-4	14.13	6.44

四半期業績

2022/Q1	3,534	—	785	—	695	—	1.73	—
2023/Q1	6,746	91	2,205	2.8倍	1,956	2.8倍	4.95	—

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手。インターネットセキュリティ関連の代表格

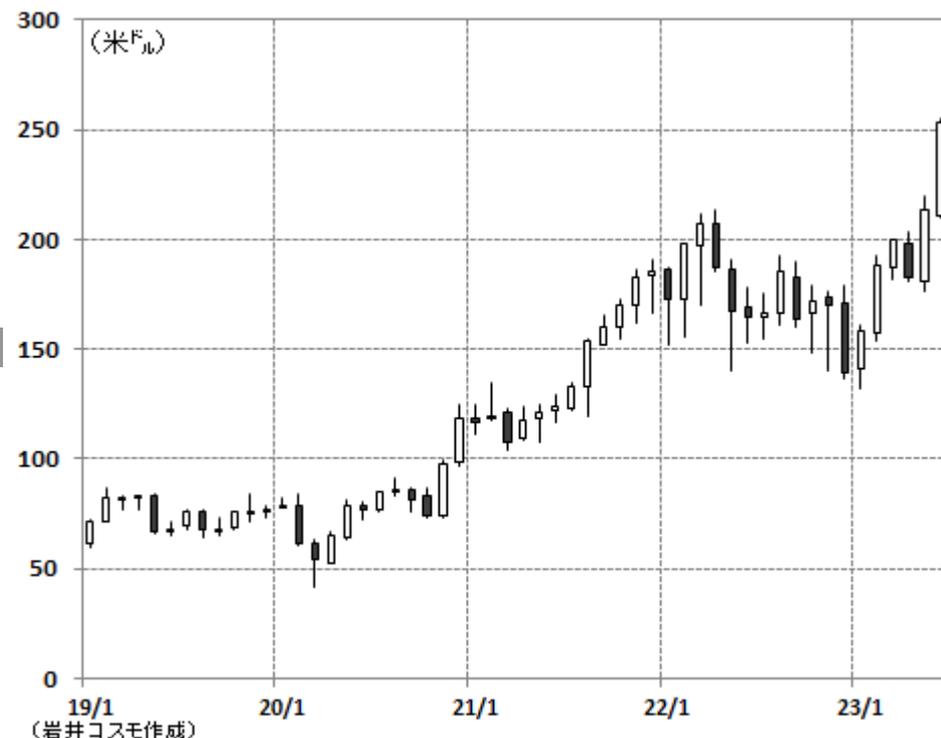
会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代のファイアウォールの特徴は、包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□**セキュリティ対策は企業のIT投資の最優先事項**：不正アクセスによる個人情報・顧客情報の流出により、米国ではトップが引責辞任する等、各社対策強化に迫られている。同社は専門の強みを活かしてネットワーク機器大手からシェアを奪いながら急成長。全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ、東京大学、サイバーエージェント、KDDI等に導入実績あり。

□**S&P500種指数に採用**：米S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、パロアルトをティッシュ・ネットワークに代わってS&P500種指数に組み入ると発表した。S&P500種指数の採用条件には様々な基準が設けられており、名実ともに優良企業の仲間入りとなる。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	253.33 (06/29)
52週高値(日付)	255.42 (23/06/28)
52週安値(日付)	132.22 (23/01/12)
時価総額	775億ドル 11兆2,163億円
株価変化率(%)	80.7 (過去6ヶ月間) 54.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	364.7 (倍)
株価売上高比率	11.8 (倍)
PBR	62.8 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.4 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/07	4,256	25	-304	赤継	-499	赤継	-1.73	0.00
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q3	1,387	—	-48	—	-73	—	-0.25	0.00
2023/Q3	1,721	24	79	黒転	108	黒転	0.31	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆した高級電気自動車メーカー

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **充電規格はテスラ式が主流に**：ゼネラル・モーターズとフォード・モーターは、急速充電設備を巡り、テスラの充電規格を採用することを決めた。これを受け、充電設備大手の米チャージ・ポイントもテスラの高速度充電規格「NACS」に対応するために自社ネットワークを刷新すると表明。規格争いが続いていたEV充電設備は、テスラ式への統合が加速する。

□ **新型2車種を開発**：テスラのイーロン・マスクCEOは、5月16日に開催した株主総会で新型2車種の開発を進めていることを明らかにした。同社の年間販売台数の3倍強にあたる年500万台の生産も見込めるとし、これらが量販車になることをほのめかした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	257.5 (06/29)
52週高値(日付)	314.667 (22/08/16)
52週安値(日付)	101.83 (23/01/06)
時価総額	8,161億ドル 118兆1455億円
株価変化率(%)	111.4 (過去6ヶ月間) 12.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	74.9 (倍)
株価売上高比率	9.4 (倍)
PBR	17.0 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.6 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	53,823	71	6,523	227	5,519	665	1.63	0.00
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00

四半期業績

2022/Q1	18,756	—	3,603	—	3,318	—	0.95	0.00
2023/Q1	23,329	24	2,664	-26	2,513	-24	0.73	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

航空機製造の世界大手。民間旅客機部門が復活の兆し

会社概要

世界最大の民間機及び軍用機メーカー。回転翼航空機、電子及び防衛システム、ミサイル、ロケットエンジン、衛星、衛星打ち上げ機等の幅広い製品を世界90カ国以上に提供。主力の民間航空機部門は小型機「737MAX」が2度の墜落事故を起こし、出荷・運航を停止していたが、米連邦航空局(FAA)の承認を経て、20年12月に運航を再開。NYダウ工業株平均採用銘柄。

注目ポイント

□「737MAX」の生産を「近いうちに」加速へ：ボーイングは主力小型機「737MAX」の生産を近いうちに加速させる準備をしていると、同社の幹部が明らかにした。「737MAX」はサプライヤーの問題により顧客への引き渡しに遅延が生じており、これらの問題の対処で「前進」していると説明した。

□欧州エアバス越え：ボーイングが23年1-3月期に納入した機体数が四半期ベースの実績としては18年半ば以降で初めて、ライバルの欧州エアバスを上回った。ボーイングはここ数年はトラブル続きで低迷が続いていたが、回復軌道に回帰しつつあることが示唆された。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	211.83 (06/29)
52週高値(日付)	223.86 (23/06/16)
52週安値(日付)	120.99 (22/09/30)
時価総額	1,274億ドル 18兆4,476億円
株価変化率(%)	12.1 (過去6ヶ月間) 53.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	1.8 (倍)
PBR	— (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.09 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	62,286	7	-2,902	赤継	-4,202	赤継	-7.15	0.00
2022/12	66,608	7	-3,547	赤継	-4,935	赤継	-8.30	0.00

四半期業績

2022/Q1	13,991	—	-1,169	—	-1,219	—	-2.06	0.00
2023/Q1	17,921	28	-149	赤継	-414	赤継	-0.69	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

プロクター & ギャンブル(PG)

世界最大の生活必需品メーカー。連続増配は66年目へ

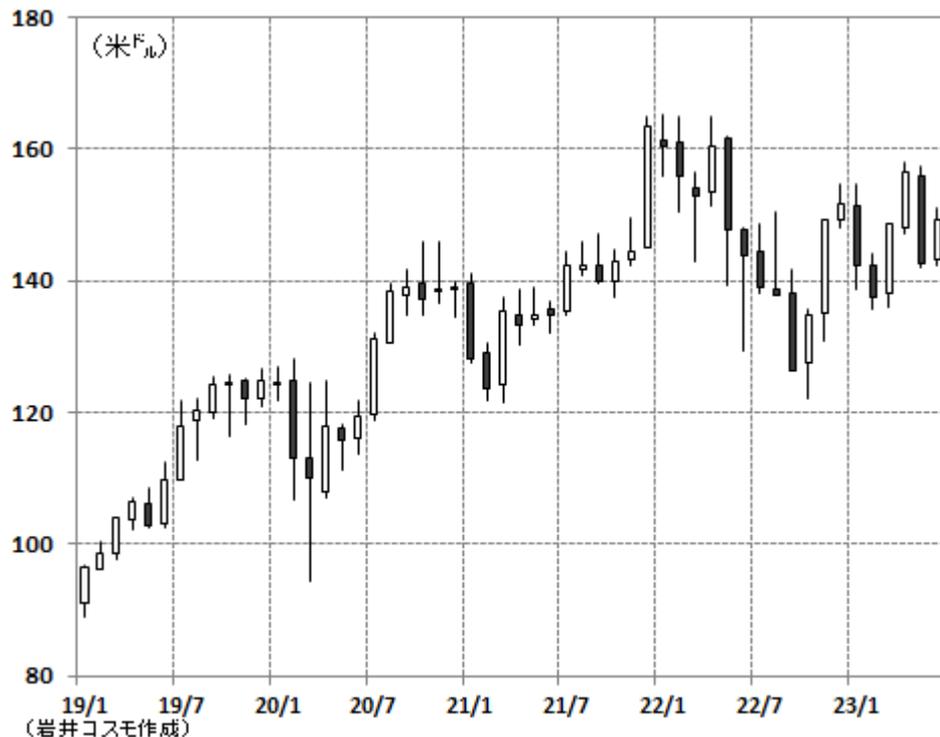
会社概要

世界最大の日用品メカ。「P&G」のブランド名で家庭用品、パーソナルケア用品、工業用製品の製造・販売に従事。世界180ヶ国、約50億人に製品を提供。1857年に設立、本社はオハイオ州シンシナティ。主力製品は洗剤「アリエール」、紙おむつ「パンパース」、化粧品「SK-II」、シャンプー「パンテン」等。22年4月に株主還元では66年連続して増配を宣言。1932年からニューヨークダウ30種平均構成銘柄に名を連ねる。

注目ポイント

□ **インフレ時代の「値上げ力」を市場は評価**: P&Gのジョン・メラ最高経営責任者(CEO)は値上げに関して、「過去18年間のうち、17年間で値上げは売上高にプラスの影響をもたらした。より高いレベルの商品を提供しさえすれば、さらに値上げも可能」との認識を示して値上げ余地を強調する。

□ **値上げが奏功、通期売上高見通しを上方修正**: P&Gが4月21日に発表した1-3月期の決算では、純利益は前年同期比1%増の34.0億ドルだった。インフレに伴う買い控えにより販売量は減少したものの、値上げの浸透により増収増益を確保。23年6月期通期の売上高成長率を前期比1%増とし、従来の1%減から上方修正した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	149.38 (06/29)
52週高値(日付)	158.1 (23/04/21)
52週安値(日付)	122.18 (22/10/10)
時価総額	3,521億ドル 50兆9,677億円
株価変化率(%)	-2.1 (過去6ヶ月間) 5.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.0 (倍)
株価売上高比率	4.4 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前配当利回り(%)	2.52 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.7 (%)
株式ベータ	0.73 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/06	76,118	7	17,986	15	14,306	10	5.50	3.2419
2022/06	80,187	5	17,813	-1	14,742	3	5.81	3.5230

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q3	19,381	—	4,024	—	3,355	—	1.33	0.8698
2023/Q3	20,068	4	4,248	6	3,397	1	1.37	0.9133

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

60年連続増配実績を有する世界を代表する大手飲料メーカー

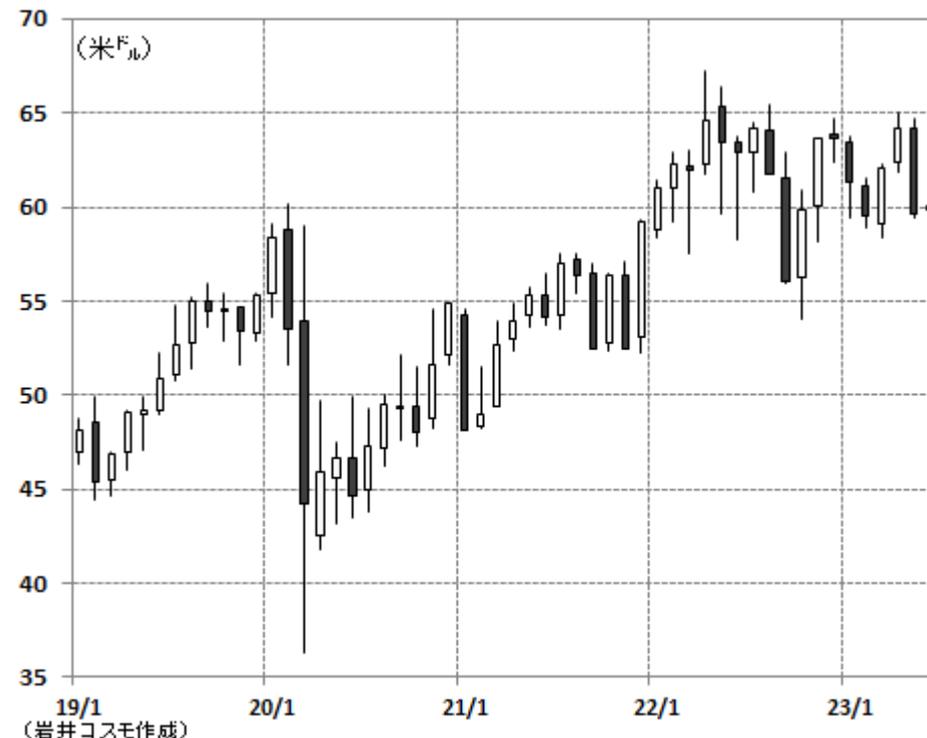
会社概要

世界的な清涼飲料水メカ。世界200超の国や地域で500以上の非アルコール飲料ブランドを製造・販売。世界販売数量の7割前後を炭酸飲料が占める。世界各地の瓶詰め(ボトリング)会社に飲料の原液を販売し、代表商品の「コカ・コーラ」の原液のレシピは、門外不出とされる。筆頭株主はバフェット氏率いるバークシャー・ハサウェイ(出資比率9%)。本社はジョージア州アトランタ、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **ブランド力のあるグローバル企業**：販売数量の8割が米国外とグローバル化が進んだ企業であり、インターブランド社調べのブランド力は飲料・食料品メーカーでトップ。飲料ブランドには「コカ・コーラ」、「ダイエットコーク」、「ミニッツメイド」、「パワーエイト」、「ファンタ」、「スプライト」等のブランドがある。株主還元では、これまで60年連続の増配実績を持ち、同銘柄はS&P500配当貴族指数にも属する。

□ **1-3月期決算は値上げが奏功で増収増益**：コカ・コーラが4月24日に発表した23年1-3月期決算では、純利益が前年同期比12%増の31.0億ドルとなった。値上げが奏功したほか、販売数量も上向いて増収増益を確保した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	60.02 (06/29)
52週高値(日付)	65.46 (22/08/19)
52週安値(日付)	54.015 (22/10/10)
時価総額	2,596億ドル 37兆5,741億円
株価変化率(%)	-6.1 (過去6ヶ月間) -4.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.6 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	10.3 (倍)
税前提当利回り(%)	3.07 (直近年率)
配当成長率(%)	4.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.4 (%)
株式ベータ	0.71 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	38,655	17	10,308	15	9,771	26	2.25	1.68
2022/12	43,004	11	10,909	6	9,542	-2	2.19	1.76

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q1	10,491	—	3,405	—	2,781	—	0.64	0.42
2023/Q1	10,980	5	3,367	-1	3,107	12	0.72	0.44

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

イーライ・リリー(LLY)

上場市場

ニューヨーク

セクター

大手製薬

インシュリンを世界初で開発した企業。肥満症やアルツハイマー型認知症治療薬に注目集まる

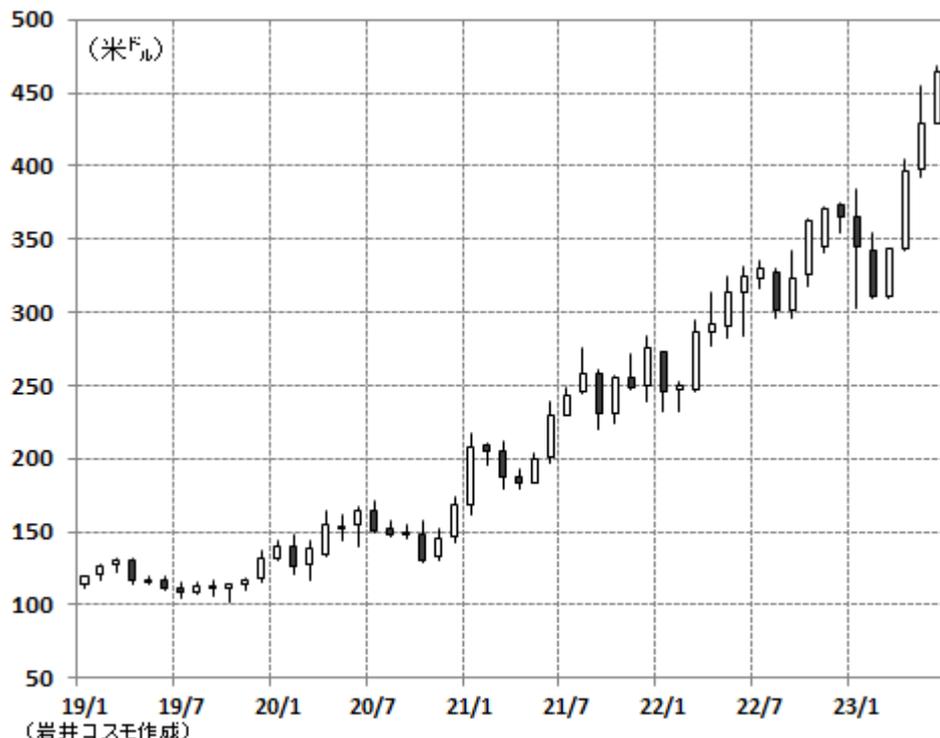
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジ-を買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□**アルツハイマー治療薬など、新薬開発が充実**：承認審査中の新薬候補は次の4つがあり、①「レプリキスマブ(アピ-性皮膚炎)」、②「ピルトブルチニブ(白血病・リンパ腫)」、③「ミリキスマス(潰瘍性大腸炎)」、④「ドナネマブ(アルツハイマー型認知症)」。23年末までの上市(承認・販売開始)を見込んでいる。

□**ダイス・セラピューティクスを約24億ドルで買収**：イーライリリーは開発中の免疫疾患向け経口治療薬を取得するため、ダイス・セラピューティクスを約24億ドルで買収する。両社の発表した資料によれば、イーライリリーはダイス1株に対して現金48ドルを支払うことで合意した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	464.49 (06/29)
52週高値(日付)	467.84 (23/06/27)
52週安値(日付)	296.32 (22/09/21)
時価総額	4,409億ドル 63兆8,287億円
株価変化率(%)	26.6 (過去6ヶ月間) 43.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	64.6 (倍)
株価売上高比率	15.1 (倍)
PBR	39.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.97 (直近年率)
配当成長率(%)	15.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	55.4 (%)
株式ベータ	0.70 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	28,318	15	6,156	-15	5,582	-10	6.12	3.40
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92

四半期業績

2022/Q1	7,810	—	2,054	—	1,903	—	2.10	0.98
2023/Q1	6,960	-11	1,530	-26	1,345	-29	1.49	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

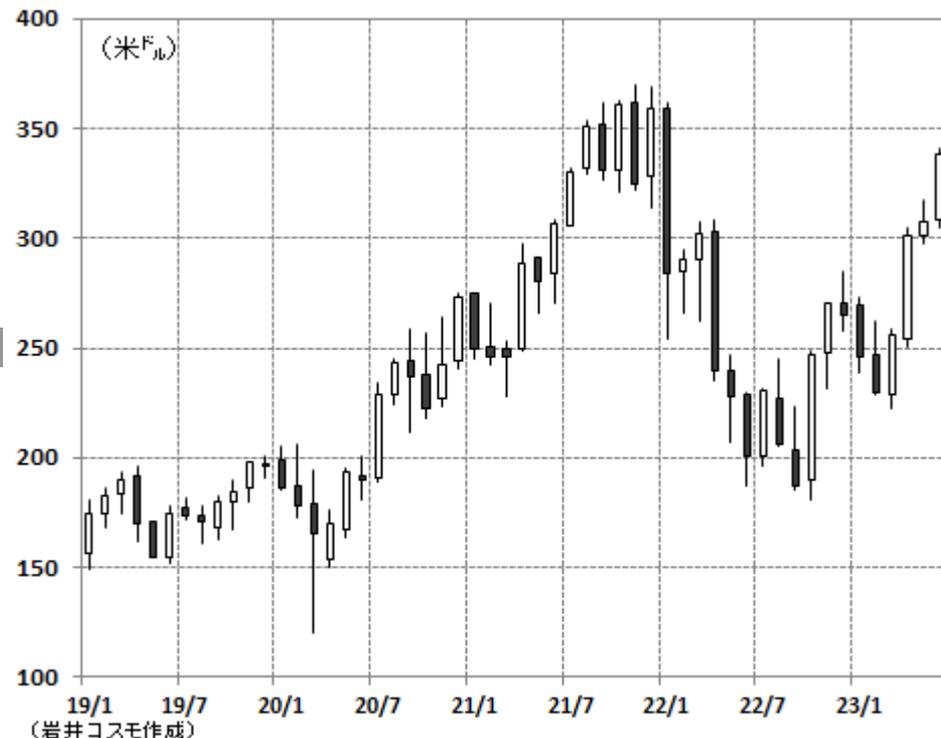
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。21年末時点の稼働状況は、全世界で6,730台。22年度の全世界の手術件数実績は約188万件。日本は450台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **23年1-3月期は手術件数が好調**: インテュイティブが4月18日に発表した23年1-3月期決算では、売上高と調整後1株利益が市場予想を上回った。手術ロボット「ダ・ビンチ」を使った手術件数が前年同期比で26%増加した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	338.49 (06/29)
52週高値(日付)	340.59 (23/06/29)
52週安値(日付)	180.34 (22/10/13)
時価総額	1,186億ドル 17兆1,694億円
株価変化率(%)	26.4 (過去6ヶ月間) 67.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	90.5 (倍)
株価売上高比率	18.6 (倍)
PBR	10.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.3 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,710	31	1,821	73	1,705	61	4.66	0.00
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00

四半期業績

2022/Q1	1,488	—	408	—	366	—	1.00	0.00
2023/Q1	1,696	14	388	-5	355	-3	1.00	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。